



こうほう

# こども広報うらやす



はーと  
はーと  
心と心をつなぐ

うらやす

## 浦安



「ありがとう」  
は元気のもと！

### のおもてなし

みんなが笑顔になる「おもてなし」。  
「おもてなし」の秘密を探りました。

「おいしい」が  
うれしくて！

お客さんは  
みんな家族！



平成22年  
9月発行

第5号

# 人と人との出会いから始まる

# おもてなし

皆さんは自分の家に友達を招くとき、どうしたら友達に楽しんでもらえるかを考えたことはありませんか？そして、友達が喜んでくれる顔を見て、自分もうれしくなったことはありませんか？その気持ちが「おもてなしの心」なのです。今回、わたしたちは、プロのおもてなしを取材して、相手をおもてなしの心を学びました。



明るく楽しい接客にお客さんも笑顔



## 心が温かくなるお店

「新富」は、美浜にある46年続くお豆腐屋さんです。お店の人は、お客さん一人一人と、豆腐の話だけでなく、いろいろな話をしていました。お客さんを見てると、おいしい豆腐だけが目的ではなく、ほかに楽しみのあつて来ているんじゃないかな？と思いました。



## お客さんに喜んでもらう努力

「自分たちが満足するのではなく、お客さんにおいしいと思ってもらえるように、よりよい豆腐を作ることが大切」と話してくれました。このような気持ちも、お客さんへの心遣いだと思いました。

## 会話が楽しい

「お客さんとの会話を楽しむ」「豆腐がかわいい」「豆腐作りが楽しい」という、お店の人の言葉から、楽しく接客すること、仕事を好きになることが長くお店を続けられる秘訣だとわかりました。



明海大学の内苑孝美先生に、おもてなしについてお話を聞きました。先生は、ホテルで長年働いていた「おもてなし」のプロです。おもてなしは、人と人との出会いがあるから始まるもので、相手の気持ちを考えて、お互いに理解合うことが大切だと教えてくれました。

## プロ直伝！おもてなしの心得

**1 相手の心を開く「あいさつ」**  
おもてなしの第一歩は、「あいさつ」です。心を込めて温かいあいさつをすると、相手も心を開いてくれるそうです。皆さんも、学校などで先生や友達に笑顔であいさつをする、相手も笑顔になってくれますよ。

**2 相手の気持ちを考えることが大切**  
おもてなしのプロは、相手が次に何をしたいのかをいつも考えているそうです。相手の立場に立って、自分から行動することが大切です。

「ありがとう」は魔法の言葉  
今では、おもてなしのプロである先生も、ホテルで働いていたころは、お客さんに怒られてしまうこともあったそうです。でも、そんなお客さんが次にホテルに来てくれたときに、「ありがとう」と言ってくれたことがとってもうれしかったと言っていました。わたしたちも、友達同士で、感謝の気持ちを言葉で伝えることが大切なのだと思います。

## 親しまれる理由

市川の行徳から豆腐を買いに来る常連客がいるほど、親しまれているお店です。おじさんやおばさんは、豆腐を作るために毎朝4時に起きます。それでも弱音をはず、おいしい豆腐を作るために毎日努力していることがわかりました。

## 心温まる接客

「新富」のおばさんもお客さんも、楽しそうに会話をしていました。今では手作りのお豆腐屋さんの数は少なくなりましたが、豆腐を通して、お店の人もお客さんも心が温かくなるお店なのだと思います。



愛情を込めた豆腐作りを教えてくださいました

## 銭湯は家族のようにあたたかい場所

堀江にある「米の湯」は、わたしたちが生まれるずっと前、昭和10年ごろに銭湯を始めたそうです。最近では、お風呂のある家が多いのに、どうしてそんなに続いているのだろう...そこには、きっとわたしたちの知らない「秘密」があるはず！その秘密を探ってきました！

## お客さんは家族のよう

銭湯に行くとき、銭湯のおばさんがいつも笑顔で迎えてくれるから、みんなが笑顔になっていくそうです。銭湯のおばさんは、お客さんを家族のように思っているから、毎日来ている人が一日来ないと心配になるそうです。銭湯に来ているみんなが仲良くなれるなんてすごいです。

## みんなの「楽しい」に大切なこと



キャストを体験した小学生もゲストとハピネスの掛け合いができていました

株式会社オリエンタルランド総務部 社会活動推進グループ 大塚 靖さん  
東京ディズニーリゾートを運営するオリエンタルランドは、今年創立50周年を迎えました。この感謝の気持ちを市民の皆さんに伝えるため、「市民ふれあいプロジェクト」を実施し、その中の一として、市内の小学校6年生に東京ディズニーランドのキャスト体験をしてもらいました。こどもたちには、思いやりの心を持つ大切さと相手の立場に立つて自分から行動することを学んでほしいですね。

## キャスト1日体験の取材を振り返って

キャスト1日体験をした6年生から、「手を振ったら振り返ってもらえて嬉しかった」「ゲストにハピネスをお届けすることで、ゲストからハピネスをもらうことができた」という話が聞けました。楽しんでほしいという気持ちが相手に伝わることで、お互いが笑顔になれます。お互いが相手のことを考えることが、相手とよい関係をつくる時にいちばん必要なことなのだと思います。

## いろいろな発見ができる銭湯

お客さんが、「ここに来れば楽しいお話や友達ができやすいよ」と教えてくれました。ほかのお客さんやお店の人が仲良くできて、昔のことや自分が知らないことなどを発見できるので、みんなにも銭湯を広めたいと思いました。

## みんな仲良く

銭湯はただの広いお風呂だと思っただけで、背中を流しあったり、世間話をしたりと、みんながとてつもなく仲良く過ごしている場所ということがわかりました。また、銭湯のおばさんが毎日お客さんのために掃除をしているので、銭湯の中は昔から時間が止まっているかのようにきれいでした。

## 皆さんは、東京ディズニーリゾートで嫌な思いをしたことがありますか？

きつと多くの方が「ない」と答えると思います。今回、わたしたちは、キャスト1日体験を取材して、「どうして東京ディズニーリゾートではいつも楽しい思い出をつくれるのか」、その秘密を学んできました。

東京ディズニーリゾートで働く人(キャスト)は全員、お客さん(ゲスト)に幸せ(ハピネス)を提供するために、SCSEに添って行動することを学びます。

- S (Safety 安全) ゲストもキャストもけがをしないように気をつける
- C (Courtesy 礼儀正しさ) 笑顔でゲストをお迎えする
- S (Show ショー) パーク内では、ゲストの皆さんが見ているショーだという気持ちで、身だしなみを整えて、自分の役(仕事)を演じる
- E (Efficiency 効率) チームワークをよくしてアトラクションでの待ち時間が少なくなるように工夫する

東京ディズニーリゾートは、アトラクションが楽しいからだけでなく、ゲストに楽しい思い出を作ってもらいたいと考えてくれるキャストがいるから、「何度でも行きたい」と思える場所なのだと思います。

キャスト1日体験をした6年生から、「手を振ったら振り返ってもらえて嬉しかった」「ゲストにハピネスをお届けすることで、ゲストからハピネスをもらうことができた」という話が聞けました。楽しんでほしいという気持ちが相手に伝わることで、お互いが笑顔になれます。お互いが相手のことを考えることが、相手とよい関係をつくる時にいちばん必要なことなのだと思います。

選手といっしょに盛り上がりよう!

# ゆめ半島千葉国体

全国各地からスポーツの代表選手が集まって競い合うスポーツの祭典「国民体育大会」が、今年、千葉県で開催されます。みんなはまだ出場することができないけれど、みんなや友達が、将来いろいろな競技で、千葉県代表として活躍するかもしれません。浦安市では空手の大会を行います。空手がどのような競技なのか、皆さんはわかりますか?大会前に学んで、みんなでお支えしましょう。

【日にち】 10月2日(土)～4日(月)  
【場所】 運動公園総合体育館 (舞浜2番地27)

	10月2日	10月3日	10月4日
成年男子 女子	組手 (個人)	組手 (団体)・形	組手 (団体)
少年男子 女子	形	組手 (個人・団体)	

チーパくんクイズ  
横から見ると千葉県の形。浦安市はどこかわかるかな?正解は下にあるよ。



からて空手とは!?



空手には、「形」と「組手」の2種類があります。「形」は、決まっている動作を演武し、表現力を競います。「組手」は、実際に相手と戦って、突き、打ち、蹴りなどの技をかけあい、得点を競います。



空手の形(カテ)と組手(クミテ)のイラスト

## ピカッと光る 団結力

### 北部小学校



萩原 未菜美 毛利 恵聖久

わたしたちの学校では、6月の終わりに「北部っ子まつり」という北部小学校ならではの祭りをを行います。

クラスで1つのお店を作りますが、6年生になると人気のお化け屋敷をお店として出すことができます。6年生にとっては最後のお祭りなので、今までの5年間の技術を使って、最高のお店を作ります。クラスの団結力が1年の中で一番輝くのが「北部っ子まつり」です。

お店作りでは、壊れてしまったり、上手にできなかつたりと、悔しい思いもたくさんありますが、最高に楽しい「北部っ子まつり」は、わたしたち北部小学校の大きな自慢です。輝ける団結力は一番だとわたしたちは思います。



みんなの団結力でつくる「北部っ子まつり」

# がっこうじまん 学校自慢

### 美浜北小学校

## のびのび遊ぶ 「美北っ子」



藤木 柚衣 國方 咲希

わたしたちの学校は、全校生徒が221人です。とても少ない人数ですが校庭の広さは、浦安の小学校の中で一番です。この校庭で週に1回、全校生徒で遊びます。なぜかという1年生から6年生まで遊ぶ「美北タイム」があるからです。

みんなでグループに分かれていっしょに話し合って遊びを決めて遊びます。

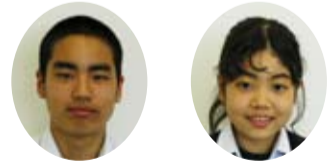


学年を超えて遊ぶ美北タイム

広い校庭で楽しく遊んで、1年生から6年生まで仲良くなれる美北タイムは、人数が少ない学校だからできる美北ならではの特徵だと思います。これからも仲良く楽しい学校を築いていきたいと思っています。

## ベルマークZ も自慢のひとつ

### 富岡中学校



澤出 晴 森田 真悠子

富岡中学校は生活面に力を入れていて、その中でも「先行あいさつ」「掃除」「チャイム着席」を心がけるように呼びかけています。

この3つを心がけることの良さは、



高さ約2メートルのベルマークZ

先行あいさつによって学校内が元気になり、掃除ではより過ごしやすい環境をつくり、チャイム着席によって、時間にルーズにならずに、充実した学校生活を送れるようになることです。生徒一人一人がこの3つを意識し、よりよい学校づくりを目指しています。

また、玄関に立っている「ベルマークZ」というロボットも自慢のひとつです。このロボットの胸に細長い穴があって、そこからベルマークを投入し、集めます。基本的には直立しているだけの木のロボットですが、毎日登下校する生徒を見守ってくれています。

## 浦中あいさつ

### 浦安中学校



小谷崎 巧 永井 岬

浦安中学校の自慢はなんといってもあいさつ。浦中では、あいさつを活発にするために、いろいろな工夫をしています。

例えば、最近ではあいさつ運動です。あいさつ運動期間中、代表者のみんなが校門に立ってあいさつをしています。

あいさつのスローガンは、「目を見て、笑顔で、元気よく、自分から」です。このあいさつ運動のおかげで、浦中はあいさつが活発になりました。

また、最近「あいさつの歌」というものを作って学校に流しました。さらに、「あいさつの歌」のCDを近所に配る予定です。

浦中は、あいさつ世界を目指して頑張っています。